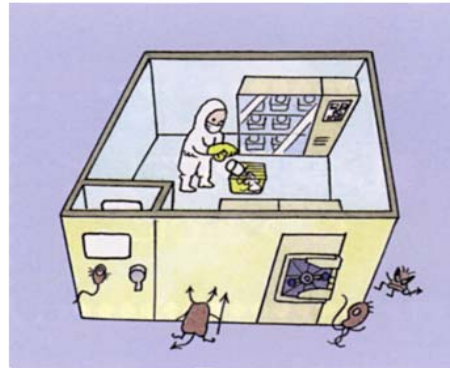


# 適正な動物実験実施のための大原則(3Rs)

## 実験動物は整備された施設で飼育されていますか？



- ① 動物が健康であるための微生物統御
- ② 温・湿度、換気、明暗サイクルの設定環境統御
- ③ 検収、検疫施設が完備

研究室の片隅や廊下で飼った動物から得られたデータは国際的に信用されません

## 実験動物は十分に検討されていますか？



- ① 実験に適正な動物の選択
- ② 最小限の動物数で最大の効果を  
**Reduction**
- ③ 動物に代わる代替法(培養細胞など)の検討  
**Replacement**

よいデータを世に発表してこそ、動物の死が報いられます

## 実験動物に苦痛を与えていませんか？



- ① 快適な生活環境、十分なスペース
- ② 最小限のストレス
- ③ 痛みへの配慮  
麻酔剤の使用、安楽死

動物は痛み、苦しみを言葉で表現できません

**Refinement**